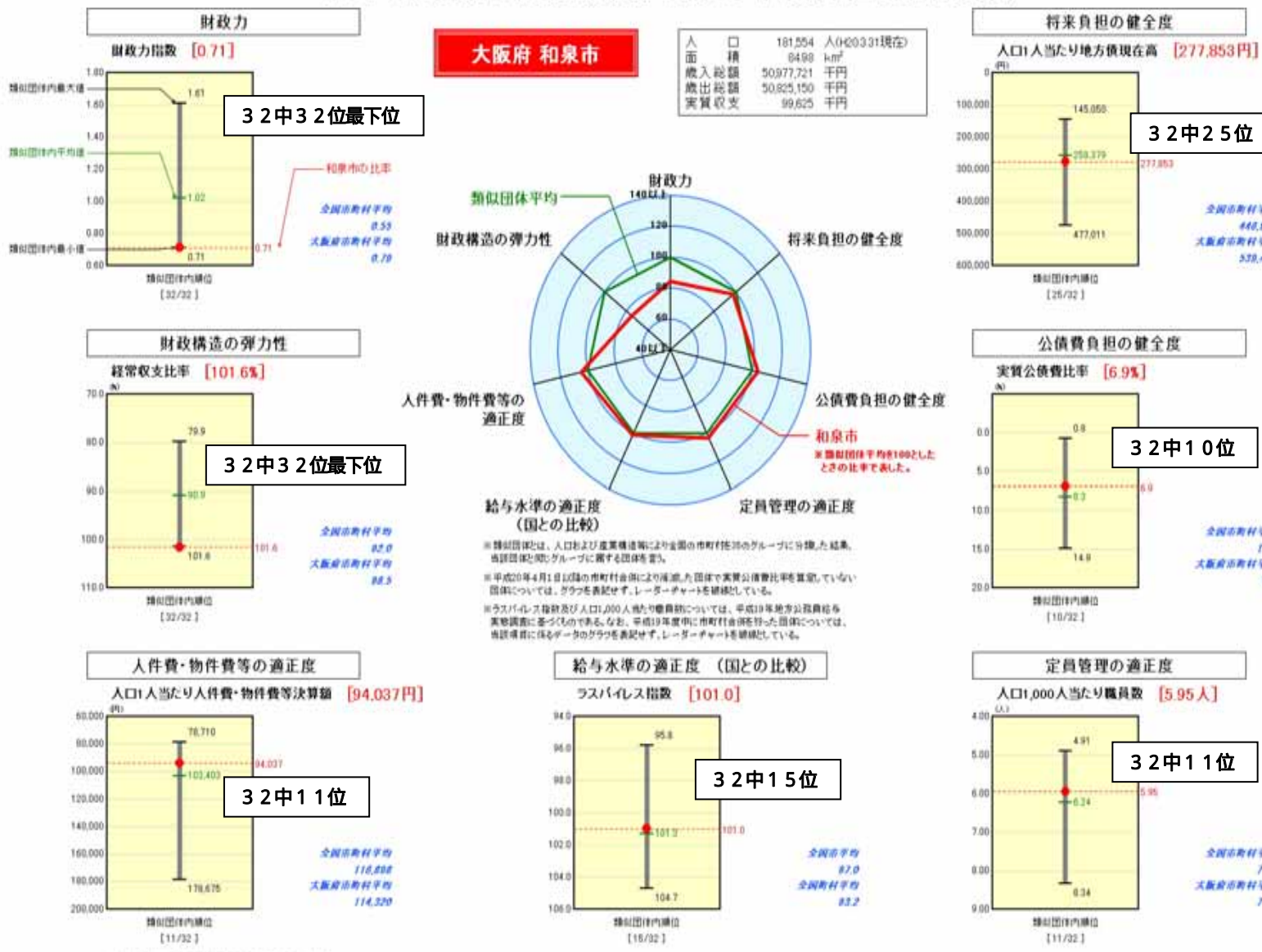


和泉市の財政はどうなっているか

出典 財政分析:総務省 HP、その他は大阪府・和泉市 HP より

平成20年度決算から

市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)



順位	自治体	市民一人当たり市税	経常収支比率(%)	市民一人当たり扶助費	市民一人当たり人件費	財政健全度指数
1	田尻町	569,622	57.5	11,129	47,693	275.7
2	摂津市	298,427	81.1	19,188	57,319	220.2
3	泉佐野市	195,528	87.0	19,981	57,692	215.8
4	吹田市	187,577	92.1	24,529	58,734	215.0
5	高石市	182,870	92.9	25,781	60,472	214.2
6	箕面市	179,785	93.1	25,982	60,532	211.2
7	池田市	174,266	94.0	31,495	61,324	210.6
8	四條畷市	170,380	94.2	31,741	61,744	208.7
9	茨木市	169,393	94.3	34,977	63,464	207.9
10	豊中市	168,496	94.8	37,106	64,010	207.6
11	島本町	167,385	95.6	40,522	64,161	207.5
12	東大阪市	163,249	96.2	43,963	64,500	206.8
13	守口市	161,930	96.3	45,690	65,417	203.7
14	大東市	161,473	96.3	46,858	66,244	203.3
15	八尾市	154,624	96.3	47,516	66,959	203.2
16	門真市	154,276	96.7	52,881	68,087	203.1
17	泉大津市	153,321	97.1	55,551	68,817	203.1
18	枚方市	147,737	97.2	56,196	69,064	202.7
19	泉南市	145,955	97.5	57,096	69,486	202.6
20	高槻市	142,856	97.9	58,221	70,430	202.6
21	大阪狭山市	141,076	97.9	58,327	70,869	201.5
22	岬町	136,084	98.2	59,872	71,829	199.9
23	忠岡町	134,941	98.3	60,313	72,682	198.3
24	柏原市	133,342	98.5	61,328	75,461	196.6
25	貝塚市	130,217	98.6	62,385	76,960	196.2
26	藤井寺市	126,307	98.7	63,950	77,281	195.2
27	交野市	125,417	99.1	64,550	77,321	193.9
28	河内長野市	124,355	99.2	65,367	78,447	193.3
29	寝屋川市	124,309	99.4	67,059	78,905	193.2
30	岸和田市	122,788	99.6	67,577	80,482	192.8
31	和泉市	122,573	99.7	68,536	81,183	191.9
32	富田林市	120,344	100.1	68,630	82,412	191.0
33	太子町	117,219	100.1	69,817	84,197	189.5
34	松原市	116,253	100.6	70,751	84,547	188.5
35	能勢町	115,597	100.8	71,090	86,590	187.1
36	羽曳野市	114,935	100.9	73,911	88,724	186.7
37	豊能町	110,506	101.2	73,913	89,233	186.6
38	熊取町	103,844	101.4	84,770	92,880	180.6
39	河南町	102,356	102.2	88,161	93,885	172.1
40	千早赤阪村	101,175	108.2	105,576	138,203	171.0
41	阪南市	99,060	110.9	110,378	158,824	168.6

財政健全度指数：上記4項目の偏差値の合計（主としてフローに関するもので独自の集計です）
 税収の確実度として市税収入、財政の硬直として経常収支比率、公的支援度として扶助費、
 行政の効率化のとして人件費を抽出

平成20年度の決算が出揃ったところで、和泉市の財政について見てみましょう。まず上の図ですが、これはH19年度についてのものですが、人口等が類似の全国の自治体と比較したもので、レーダーチャートの外側にあれば優れていることを表します。

和泉市のチャートを見ますと財政力が大きく劣っていることが分かります。具体的に言いますと、

- ・自治体の財政力を示す財政力指数が32自治体中32位で最下位
- ・財政構造の弾力化を示す経常収支比率が同じく32自治体中最下位
- ・将来負担の健全度を示す地方債残高が32自治体中25位

といずれも大きく劣っており、それに対応するため

- ・人件費11位、給与水準15位、職員数11位といずれも中位からやや良い部類に入っている。身の丈に合わせた財政に運営に務めていることがわかります。

次いで平成20年度決算で政令指定都市を除く府内の各市と比較したのが上右の図です。特徴が良く現れているのが人口一人当たり市税収入で、41自治体中31位で、田尻町は特別としても市レベルで最高位の摂津市の約半分しか税収が無いということです。市税は自治体の歳入の根幹をなすもので、これが劣っていることは決定的です。収入が少ないにも拘わらず生活保護などの扶助費が相対的に高いのも気になることです。それらを受けて財政の弾力化を示す経常収支比率も100%を超え危険水域にあります。それに対応するため人件費が低く抑えられており、効率的な行政運営に務めていることが伺われます。これらの指標を総合して独自の財政健全度指数を算定してみると、和泉市は中の下に位置します。さらなる行財政改革が必要です。

又財政に収支見通しを市は発表していますが(市はトレンドを見るのが主眼で絶対値は参考と云っています) これを見ますと基金(市の貯金)を取り崩してようやく収支をたもっていますが、H23年度には基金も底をつき、大幅な赤字が出る見通しです。行財政改革は必須で、毎年15億円の財源が必要な市長の公約はとも実現出来る状況にありません。

財政収支見通し

項目	単位百万円					
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
市税	22,050	22,044	22,239	21,910	22,118	22,306
地方交付税	7,208	6,749	6,361	6,586	6,526	6,437
繰入金	1,360	2,562	2,094	0	0	500
市債	6,564	3,373	5,351	5,091	4,403	6,460
その他	23,134	16,946	17,688	19,425	18,163	18,098
歳入計	60,316	51,674	53,733	53,012	51,210	53,801
人件費	10,901	10,815	10,725	10,948	10,630	10,579
扶助費	13,279	13,571	13,869	14,174	14,485	14,803
公債費	5,440	5,462	5,345	5,326	5,439	5,333
物件費	6,857	5,919	5,904	5,934	5,957	6,035
補助費	7,371	4,169	4,411	5,070	4,964	4,954
繰出金	5,208	5,688	4,740	4,794	4,873	4,914
普通建設事業	9,619	5,254	8,090	8,146	5,089	7,763
その他	1,641	796	796	496	496	496
歳出計	60,316	51,674	53,880	54,888	51,933	54,877
単年度収支	0	0	▲147	▲1,876	▲723	▲1,076
実質収支	0	0	▲147	▲2,023	▲2,746	▲3,822
基金残高	4,096	1,794	0	0	0	0

* 市長公約(市民税10%減額、上下水道料金10%削減)含まず

上伯太線について意見陳述

私も所属するオンブズ和泉の代表が上伯太線問題で住民監査請求をしていますが、1/18に意見陳述を行いました。

陳述の趣旨は

- ・多くの市民が多額の税金を無駄に使った事に対し強い怒りを持っている。3月末迄の工事完了は勿論、再発防止や関係職員への対応（損害賠償請求等）を誤れば、市民の市政に対する信頼を大きく損なう危険性をはらんだ問題である。
- ・この問題は、つまるところ任意の団体である一少年野球の球団への過剰な便宜供与とこれにかかわる事務処理の不手際である。
- ・市は少年野球のチームに旧グラウンドの使用権がある前提で、グラウンドの現状復帰や代替グラウンドの提供が必要と判断したものであるが、使用権があるとの判断は根拠のないもので、結果的に過剰な対応となったものである。
- ・もともと旧グラウンドはたまたまそれに適した用地があったことから出来たもので、今回の工事でグラウンドの用地が狭くなった状況で旧のグラウンドに復帰させる必要性は無く、公園等市民が憩える緑地として利用することも可能であって、後背地を削ってまでグラウンドを復活する必要はさらさら無かったと言うべきである。
- ・代替グラウンドの整備は予算の裏付けも無く、正規の契約も行わないで、闇で行おうとした結果がこのような事態を招来したもので、事務処理上違法のそしりは免れない。

これに対し行政側から1/25に意見陳述がありました。その趣旨は

- ・代替グラウンドの設置の根拠は、泉北水道、町内会、和泉市間で交わした覚書と泉北水道と王子・幸町会との間で交わされたグラウンドの使用契約に基づくものである。
- ・市とリトルリーグとの間には何らの契約や覚書はない
- ・代替グラウンドは王子グラウンドの整備の一環であるとの判断で、最終的に精算等で処理する予定であったが事務処理に不手際があった。
- ・契約変更として議会の議決は必要ないと考えた
- ・H17当時から機能回復及び代替グラウンドの確保はトップからの了解事項であるが、書面等は存在しない。当時の部長が口頭で了解を得たと聞いている。等で新たな事実はありませんでした。監査請求での請求人の違法性の主張に対する具体的な反論は殆どなく、中身の乏しい陳述だったと思います。

昌子の日記

- 1/5 和泉中央駅会報配布、「ダムを中止した時の上流部における治水対策今本案」大阪府へ提出、記者会見
- 1/7 和泉中央駅会報配布
- 1/8 議会便り編集会議
- 1/9 万葉講座新年会
- 1/10 出初式、榎尾川ダム見直しを求める連絡会新年会
- 1/11 はたちのつどい
- 1/12 大阪府建設事業再評価委員会傍聴
- 1/13 市政相談会
- 1/14 和泉府中駅会報配布、建設事業再評価委員会傍聴
- 1/16 環境くらぶ「光明池清掃」、ハートフルフェスタ2010
- 1/17 泉州この町のかたち研究会、貝塚市長選出発式
- 1/18 和泉中央駅会報配布、総合計画後期基本計画市民会議傍聴
- 1/19 和泉中央駅会報配布
- 1/20 事務所運営委員会
- 1/21 近畿市民派議員学習会 in 西宮、公契約条例勉強会 in 尼崎
- 1/22 和泉中央駅会報配布
- 1/23 貝塚市長選応援、森かずとみ新春の集い
- 1/24 女の一生無実の罪に立って徳島ラジオ商殺し講演会
- 1/25 信太山駅会報配布、榎尾川調査
- 1/26 和泉中央駅会報配布
- 1/27 光明池駅会報配布、市政相談会
- 1/28 北信太駅会報配布、議会運営委員会
- 1/29 榎尾川ダム地元住民意見交換会記者会見
- 1/31 お父さんと遊ぼう！おもちゃ・絵本がいっぱい

<事務所行事> いずれも小林昌子事務所で

連絡先 自宅 TEL 0725-54-2626

事務所 TEL 0725-53-4451

(事務所 緑ヶ丘1-3-15)

万葉講座(場所 緑ヶ丘自治会館にて)

・講師 大高勇さん(犬養万葉顕彰会会員)

・会費 1,000円(3か月分) 14-16時

・次回は3月です

<途中からの参加でも十分お楽しみ頂けます>

ちぎり絵

・講師 西原志満子さん・材料費実費 参加費無料

・2月10日(水)13時~16時

パソコン講座(参加費無料)

・第2、第4週の火曜10時~12時、

同じく 木曜14時~16時

・申し訳ありませんが現在定員一杯です。新規の方は少しお待ちいただくことになります。

市政相談会

・第2、4水曜日 20:00~21:30